

10.21 [Sat] - 12.10 [Sun], 2017 The Tokushima Modern Art Museum



廣ひろ島しま晃こう甫ほう

回顧展

近代日本画のもう一つの可能性



青衣の女一九二二年、東京国立近代美術館蔵
〔部分使用〕新柳宿雀、兎、猫、いすれも徳島県立近代美術館蔵

二〇一七年
十月二十一日 [土]
↓ 十二月十日 [日]

徳島県立
近代美術館

開館時間：午前九時三〇分～午後五時
休館日：月曜日

主催：徳島県立近代美術館
共催：四国放送

後援：徳島新聞社 / N日K徳島放送局

エフエム徳島

（公財）徳島県文化振興財団

助成：芸術文化振興基金

第十九回徳島県民文化祭共催事業

beyond2020プログラム



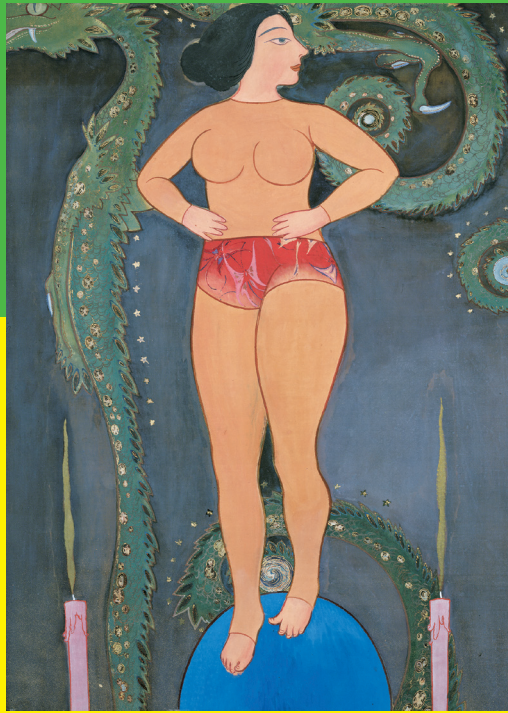
Kōho Hiroshima

Another possibility of Japanese-style painting



ひろしま 廣島晃甫 回顧展

近代日本画のもう一つの可能性



- 一 夕暮れの春 一九〇〇年 徳島県立近代美術館蔵
- 二 双鳩 大正末期 山種美術館蔵
- 三 牡丹 一九二三年 徳島県立近代美術館蔵
- 四 玉乗り 一九二三年 東京藝術大学蔵
- 五 春景 一九九三年頃 徳島県立近代美術館蔵
- 六 窓辺静物 一九四九年 高松市美術館蔵

近代の日本画家として目覚ましい活躍を見せた、廣島晃甫（二八八九〜一九五二年、徳島市出身）の画業を、紹介する初の回顧展です。東京美術学校（現・東京藝術大学）の卒業制作で、明治末・大正期の個性表現を代表する「玉乗り」を制作。また当時画壇の最高の権威とされた帝展（帝國美術院展）では、第一回展の〈青衣の女〉、第二回展の〈夕暮れの春〉が連続して特選となり、躍世の脚光を浴びます。その後もヨーロッパにおもむいて西洋風景を描き、洋画的な日本画に挑戦したほか、身近にある美しい日本の自然も追求しました。創作版画の団体展をはじめ、日本の版画史に名を刻んだ画家としても知られています。

この展覧会では、廣島の各時代を代表するおよそ二〇〇点の作品を展示します。時代に翻弄されながら、新しさと伝統のはざままで、日本画とは何かを考え続けた波乱に富んだ画業からは、近代日本画がもつていたさまざまな可能性と魅力が再発見できるはずです。*会期中、一部の作品の展示替えがあります。

関連行事

● **展示解説** ◆
十月二十二日〔日〕、十二月三日〔日〕 午後二時〜三時

● **手話通訳つき展示解説** ◆
十月二十二日〔日〕 午前十時〜十時三十分

● **レクチャー「廣島晃甫の生涯と画業」** ★
十一月十八日〔土〕 午後二時〜三時三十分

● **「こども鑑賞クラブ」** ◆
十一月十八日〔土〕 午後二時〜二時四十五分

● **日本画再発見ワークショップ** ★
十一月二十五日〔土〕 午後三時三十分〜四時と
十一月二十六日〔日〕 午前十時〜午後四時

講師…森山知己（日本画家、倉敷芸術科学大学教授）
会場…アートエ 定員…二十名 対象…高校生以上

● **申込方法** 往復はがきでお申込みください。十月十五日「水」必着（申込多数の場合は抽選。いずれか日の参加でも申込みますが、二日間参加の方は優先させていただきます。）

● **往信面の表**には「〒七〇〇・八〇七〇 徳島市八万町向香山 徳島県立近代美術館 ワークショップ係」裏に「講座名と参加希望の日」返信面の表に「申し込む方の住所氏名」を記入ください。

◆ 展覧会場で開催★は、ヒアリンググループあり・テコイル付き補聴器、人工内耳に講師のマイク音声はつきり聞こえます。

また、要約筆記を希望の方は「週間前までに」相談ください。

● **観覧料**…● 一般六〇〇円（四八〇円）
● 高大生四五〇円（三六〇円）● 小中生三〇〇円（二四〇円）

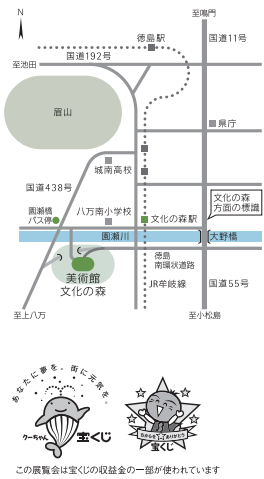
「内」は〇名以上の場合、身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳を提示いただいた方とその介助者の方名は観覧料が無料になります。

六十五歳以上の方で証明されるものを提示いただいた方は半額になります。小中高生は、土日祝日、振替休日の観覧料が無料になります。

特別展の観覧料で所蔵作品展もご覧いただけます。

● **徳島県立近代美術館**
七七〇・八〇七〇 徳島市八万町向香山 文化の森総合公園
電話 〇八九六・六六八〇・八八六・六六八七・九八
<http://www.art.tokushima.ac.jp/>

● **交通のご案内**
JR 徳島駅が…徳島市営バス「文化の森行き」直通バスにて「文化の森」下車（約二十分。徳島市営バス「徳島バス」にて「園橋」で下車約二十分。徒歩約十分。）
● **JR 牟岐線文化の森駅が…徒歩（約二十五分）**
● **文化の森駅がタクシーの便があります。**



この展覧会は宝くじの収益金の一部が使われています